

Studyaid D.B. information vol.41

「履歴」四段活用




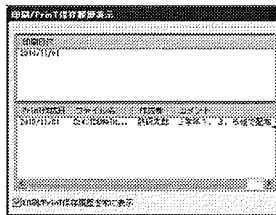
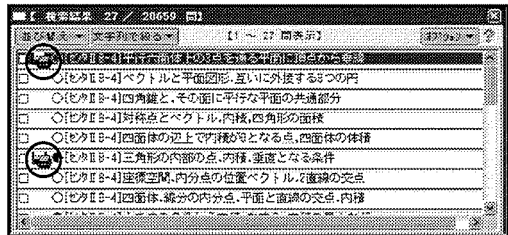
今月号はStudyaid D.B.の「履歴」についてご紹介いたします。

「以前に使った問題どれだったかなあ」、「この問題はいつ使ったかなあ」などと悩まれたことはないでしょうか？

意外に知られていない「履歴」の便利な活用法をご覧ください。

◆活用1段目：履歴マークの確認◆

検索結果一覧画面の  マークに気付いていますか？ Studyaid D.B.では、データベースの問題を印刷、またはプリントに保存すると、自動的に履歴として記録が残るようになっていきます。マークはその印です。

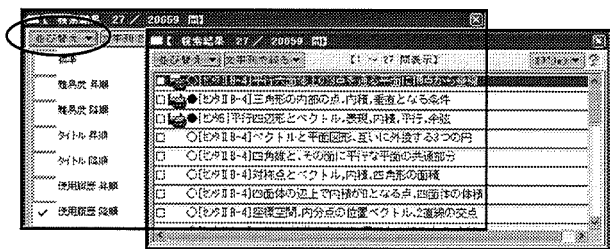


[印刷/Print保存履歴表示]画面では、問題の印刷日付のほか、Print作成日・ファイル名・作成者・コメントも確認することができます。

◆活用2段目：検索と組み合わせる◆

Studyaid D.B.の履歴は、検索機能と組み合わせて使用することができます。

過去に使用したことがある問題を選びたくないときは「使用履歴 昇順」で並び替え、過去に使用したことがある問題をもう一度使いたいときは「使用履歴 降順」で並び替えると便利です。



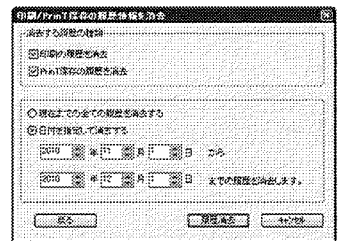
また、ランダム選択の際、[過去に印刷/Print保存した問題は除く]にチェックをつけると、今までに使用したことのない問題のみを選ぶことができます。

◆活用3段目：履歴の消去◆

Studyaid D.B. を長年お使いいただいていると、「ほとんどの問題に履歴マークがついてしまい、区別がつかなくなった……」という場合があるかもしれません。

そんな場合は、必要な履歴は残しつつ、不要な履歴は消去することで、履歴が整理され、より使いやすくなります。

履歴は日付を指定して消去することもできますので、定期的に整理しておくことをオススメします。



🔍 裏ワザ！？履歴消去で検索が速くなる？

「最近検索結果一覧の画面が表示されるのが遅くなってきたなあ…」とお悩みの先生はいらっしゃいませんか？

検索速度を速くするには、検索範囲を絞ることが一番の正攻法です。

しかし、「どうしてもこれ以上速くならない」という場合は、不要な履歴については消去を行い“履歴のダイエット”をすると、検索結果が速くなる……かも？

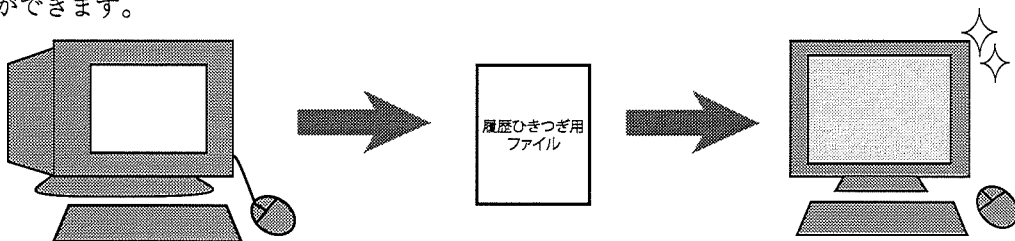
◆活用4段目：履歴のインポート／エクスポート◆

Ver.15から、履歴のインポート／エクスポート機能が追加されました。

Q. そもそも……履歴のインポート／エクスポートって何？

A. コンピュータAからコンピュータBに履歴を引き継ぐため、コンピュータAから履歴を書き出すことをエクスポート、エクスポートしてきた履歴をコンピュータBで読み込むことをインポートといいます。

新しいコンピュータにStudyaid D.B. をインストールし直す際に、これまで使ってきた履歴を移動することができます。



元のコンピュータから履歴をエクスポートしておきます。

エクスポートしておいた履歴を新しいコンピュータにインポートします。

さらに…

複数の先生が別々のコンピュータを使っている場合、それぞれのコンピュータの履歴を、インポートとエクスポートを繰り返すことにより統合することができます。

いかがでしたでしょうか？意外に知られていない「履歴」機能の便利な使い方を実感いただけたのではないのでしょうか。

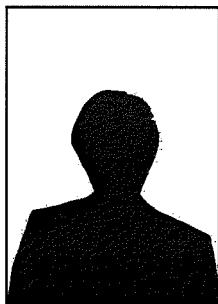
「履歴」機能を徹底活用して、ワンランク上のデータベース問題の利用を目指してみてください。

インタビュー形式でお伝えする

Studyaid D.B. 私の“イチ押し”

このコーナーでは、Studyaid D.B. にかかわりのある数研出版社員の生の声をお届けします。基本的な機能から実践的な活用法まで、役立つ情報を広く紹介していきますので、日々のプリント作成にぜひお役立てください。

第6回 開発部Mさんに聞く！



開発部 Mさん

Q. MさんはStudyaid D.B. とどのように関わっていますか。

A. Studyaid D.B. のシステムの企画から開発までを行っています。企画段階では、先生方からのご意見を少しでも反映できるように、機能面についても検討しています。

Q. それでは、Mさんの“イチ押し”新機能を教えてください。

A. 「ベクトル入力時の書体自動切り替え」機能です。ベクトル内にアルファベットの太文字を入力すると、自動的に適した書体に切り替えて表示する機能です。これにより、ベクトル内では書体をローマンまたはイタリックに指定する手間が軽減します。

また、少し前ですが、「グラフ作成」機能が大きく向上しました。 x 軸、 y 軸、原点 O の表示位置のバリエーションが増えた他、座標を指定するだけで、グラフ上に点や垂線を引くことができるようになりました。これにより、よりきれいなグラフが正確にかけるようになったのではないかと思います。

これら1つ1つの機能の向上は、ほんのちょっとしたことかもしれませんが、先生方のご意見を参考に使いやすさを突きつめていった結果です。

Q. 最後に一言お願いします。

A. Studyaid D.B. は先生方のご意見によって育てられています。日頃からお使いいただいている先生方からのご意見は、大変貴重なものです。

今後も、先生方からの貴重なご意見を参考に、より使いやすいものを追求してまいります。